



2022年 9月 9日

日本鉄道労働組合連合会

J R 西 労 組 2022 年度総合労働協約改訂交渉妥結

ワーク・ライフ・バランス向上に資する多くの成果を確認!

J R 西 労 組 は、7 月 20 日 に「総合労働協約改訂に関する要求（全 74 項目）」を会社に提出して以降、団体交渉を積み上げた結果、9 月 2 日の団体交渉で会社から以下の回答を引き出し、席上妥結した。

<短日数勤務制度の延長>（2022 年 10 月 1 日から適用）

●短日数勤務制度は小学校 3 年生の年度末までの子を養育する場合となっていたが、小学校 6 年生の年度末までの子を養育する場合に 2 日または 4 日が使用可能。

対象：社員、契約社員、シニア、シニアリーダー社員

<育児休職の分割取得>（2022 年 10 月 1 日から適用）

●育児休職について、満 1 歳、満 2 歳、満 3 歳に達するまでの各 1 年間で 2 回ずつ取得可能。

対象：社員、シニア、シニアリーダー社員

●契約社員の育児休職が満 1 歳まで 2 回取得可能。

<産後パートナー休暇の新設>（2022 年 10 月 1 日から適用）

●分べん休暇を取得していない社員等が、出生日か出産予定日の早い日から、出生日か出産予定日の遅い日の 8 週間後までの間の最大 28 日間、分割して取得できる無給休暇を新設。

対象：社員、契約社員、シニア、シニアリーダー社員

<育児休職（小学校）の取得者の拡大>（2022 年 10 月 1 日から適用）

●育児休職（小学校）はこれまで女性のみが使用できたが、男性も取得可能に。 対象：社員

<昇職試験及び進級試験の受験者の見直し>（2022 年度に実施する試験から適用）

●短日数・短時間勤務適用者や休職中、復職した者など、上位職となる資質や優秀な職務遂行能力があれば昇職試験や進級試験（短縮）の受験が可能。 対象：社員（病気休職、刑事休職を除く）

<不妊治療支援休職の新設>（2022 年 10 月 1 日から適用）

●不妊治療（生殖補助医療に限る）を受けるために 1 子につき 12 ヶ月まで休職することが可能。

対象：社員、契約社員、シニア、シニアリーダー社員

<フレックスタイム制の拡大>（2022 年 10 月 1 日から適用）

●電気技術センター（電気区は除く）にフレックスタイム制を導入。

対象：社員、シニア、シニアリーダー社員

<契約社員の職務乗車証の交付>（2022 年 10 月 1 日から適用）

●契約社員はこれまで入社後 1 年間は通勤定期の交付となっていたが、1 年目から「所属支社線（金沢エリア・近畿統括本部エリア・中国統括本部エリア）」の職務乗車証を交付。

なお、J R 西 労 組 は 2022 春闘における年間臨給の要求に対し、3 月 31 日妥結時点で夏季手当のみの妥結に留まっていたことを踏まえ、本総合労働協約改訂交渉の妥結後に上村良成 中央執行委員長が「年末手当について然るべき時期に労使協議を求める。誠意ある対応をされたい」と会社に強く要請し、締めくくった。